:	科目名	機材メンテナンス! 担当講師 森 良太									
講師	下実務経験	音響会社勤	力務				•				
交	象学年	1 学年									
	期間	3期•4期	総授業回数	14	回	1回あたりの投	業時間	135	分		
	期					修得目標					
3期 各種音響ケーブルの仕組みと構造の知識、及びハンダ付の技術を修得する。							3 .				
	4期	各種音響機器のメンテナンス技術を修得する。									
回数	日程										
1	10月17日	授業ガイダ	ンス及び各種	ケーブル	ルの仕	組みと構造について					
2	10月24日	各種ケーブ	ル作成に必要	な道具	の解詞	党と安全な扱い方につ	いて				
3	10月31日	XLR、フォー	-ンケーブルの	メンテフ	ナンス	1			_		
4	11月7日	XLR、フォー	-ンケーブルの	メンテっ	ナンスの	2					
5	11月14日	XLR、フォー	-ンケーブルの	メンテっ	ナンス	3					
6	11月21日	スピーカー	ケーブルのメン	テナン	ス①						
7	11月28日	スピーカー	ケーブルのメン	テナン	2						
8	12月5日	NGケーブル	レのリペア								
9	12月12日	ミキサー、(GEQのメンテナ	ンスに	ついて						
10	1月16日	パワーアン	プ、スピーカー	-のメン-	テナン	スについて					
11	1月23日	校内音響機	と器のメンテナ	ンス①							
12	1月30日	校内音響機	と器のメンテナ	ンス②							
13	2月6日	実技テスト									
14	2月13日	試験対策									
15											
9 7	·····································	定期試験点	数(70%)実技	修得度	(30%	á)平常点±10点(出席 ²	率、提出物、授業	態度・取組状	況なと		
		※実技習得	※実技習得度評価時期·方法:B								
	評価	上記総合評	F価点 S(100	0-90)	A(89-	80) B(79-60) C(59-	50) D(49以下	不可)			
	テキスト	10 BA DE 1		- - 1 - 11	h = A =	TA		11-1-1-1			
注	意事項	42時間中1	b時間の欠席で	ご定期記	忒 験受	験不可=卒業ができま	せん(留年とな	ります)			

7	科目名		就職ガイダン	ス	担	担当講師 一岡永				
講師	下実務経験	音響会社勤	務							
対	象学年	1 学年	対象専攻	1	年A組、B	組	授業形態	講	轰	
	期間	3期•4期	総授業回数	14 回		あたりの授業	時間	45	分	
	期	<u> </u>			修得目	· 標				
3期 企業情報を収集し、就職計画を立てる。 応募書類を理解し、受験への備えを修得す								.を修得す	る。	
	4期	エントリーに	向けた一連の							
回数	日程			【授	業	計	画】			
1	10月17日	就職用写真	[の撮影準備に	こついて/自己	PR作成₫	パイント				
2	10月24日	求人検索方	法、就職支援	サイト利用力	法につい	て/志望動機作	作成のポインI			
3	10月31日	応募条件に	:ついて考える	/志望動機、	自己PR作	成①			_	
4	11月7日	志望動機、	自己PR作成②	2						
5	11月14日	履歴書作成	 t練習							
6	11月21日	エントリーシ	/一トの質問項	[目と解答例						
7	11月28日	応募書類に	ついて							
8	12月5日	進路につい	て考える							
9	12月12日	就職希望調	查書配布説明	月						
10	1月16日	履歴書作成	注練習							
11	1月23日	筆記試験対	策(一般常識		シート作成	············ 練習				
12	1月30日	筆記試験対	 策(SPI)/エン	/トリーシート	作成練習					
13	2月6日	面接対策								
14	2月13日	春休み中に	出来る事/3月	の求人公開	に向けて					
評	F価方法	3分の2以_	上の出席で「修	§得済」評価						
	評価	「修得済」評	価(点数評価	は行わない)						
-	テキスト	プリント配布								
注	意事項	14時間中5	時間の欠席で	:修得済評価	不可=進級	ができません	(留年となりま	(す)		

科目名 担当講館						旦当講師	國本	、 昌秀	
講師	5実務経験	元HTB北海	₹道テレビ勤務	(記者・う	デスク、ディレ	<i>、</i> クター、プロデ	ューサーなど)		
交	象学年	1 学年	対象専攻		1年A,B	組	授業形態	講義	裝
	期間	後期	総授業回数	13	-	回あたりの授業	美時間	45	分
期									
	3期	ニュース・฿	寺事問題を読∂	→解くこと	で、日常生活	の思考・行動へ	への活用法を修	修得する。	
4期 ニュースを日常生活の思考・行動に活用し、成人としての視野を修得する。									
回数	日程			【授	業	計	画】		
1	10月17日	授業ガイダ	ンス 習得目標	票について	<u> </u>				
2	10月24日	岸田政権京	忧任1年						
3	10月31日	直近のニュ	ースについて						
4	11月7日	直近のニュ	ースについて						
5	11月14日	直近のニュ	ースについて						
6	11月21日	直近のニュ	ースについて						
7	11月28日	直近のニュ	.ースについて						
8	12月5日	2022年二ュ	ース振り返り(1)					
9	12月12日	2022年二ュ	ース振り返り(2					
10	1月16日	2023年はと	んな年						
11	1月23日	直近のニュ	ースについて						
12	1月30日	直近のニュ	ースについて						
13	2月6日	直近のニュ	ースについて						
14	2月13日	講義振り返	[ij						
部	·価方法	定期試験点	数、平常点±	10点(出)	席率、提出 物	勿、授業態度∙取	マ組状況など)		
	評価	上記総合詞		0-90) A(89-80) B(7	9-60) C(59-50	D(49以下 ²	不可)	
	テキスト		プリント配布		A == FA == ==			1 - 1 -	
注意事項 14時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)							<i>り</i> ます)		

7	科目名 PA基礎実習 担当講師 斎藤 康沒										
講師	j実務経験	音響会社勤	协務								
対	象学年	1 学年	対象専攻	サウ	ンドステージ専攻	授業形態	実習				
	期間	3期・4期	総授業回数	14 回	1回あたりの	授業時間	135 分				
	期				修得目標						
	3期	キーボード	`のセッティング 	`技術を修得 ^っ	する。 						
	4期	4リズムのト	トータルのセッ		換作業を修得する。	_					
回数	日程			【授	業計	画】					
1	10月18日	授業ガイダ	ンス								
2	10月25日	キーボード	`の概要と1枚0)時の基本セ	ッティングの説明						
3	11月1日	キーボード	複数枚の時の	基本セッティ	ングの説明						
4	11月8日	キーボード	`セッティングの)実践							
5	11月15日	Gt/Baの~	つまみやスイッ	チ、使用方法	気について GtAM	IP BaAMPについ	ヽて				
6	11月22日	Gt/Baセッ	it/Baセッティングの実践								
7	11月29日	楽器の転換	奥作業①								
8	12月6日	楽器の転換	換作業②								
9	12月13日	エフェクター	-について								
10	1月17日	電源と感電	②対策、テスタ-	ーの使い方に	ついて						
11	1月24日	4リズムセッ	ットのまとめ								
12	1月31日	4リズムを値	使用したセッシ	=ン①							
13	2月7日	4リズムを値	使用したセッシ	ョン②							
14	2月14日	試験対策									
15											
≣ज		定期試験点	数(70%)実技值	多得度(30%)平常点±10点(出席率	×、提出物、授業態	度・取組状況など)				
			导度評価時期・			> - :					
	評価 - キュレ	上記総合記	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)								
	テキスト :意事項	42時間由1	5時間の欠度で	で定期試験型	験不可=卒業ができ	ません(留年とた	ごり手す)				
/1	-心于公	作品的工厂	のまり同い人所		マン・マン・マン・アイ・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・	のにつく田十して	7/07/				

7	科目名 機材概論 I					担当講師 斎藤 康次				
講師	5実務経験	音響会社勤	边務							
文	才象学年	+	サウンド	ステージ	専攻	授業形態	講義	i k		
	期間	3期・4期	総授業回数	あたりの授業	時間	135	分			
	期				修	得目	標			
	3期	マイクロファ	ナン、D.I.、ケー	ブル、ミ	キサーに	関する	各スペックに	ついて修得す	る。	
	4期	エフェクター	-、パワーアン			基礎知				
回数	日程			【授	業		計	画】		
1	10月18日	授業ガイダ	`ンス 学校	内の機材	オスペッ	ク表作成	えについて			
2	10月25日	機材スペッ	ク表作成①	マイク	ロフォン	の種類と	と特性			
3	11月1日	機材スペッ	ク表作成②	D.I.の	種類と特	性				
4	11月8日	ケーブルの)種類と特性(基	基礎編)						
5	11月15日	ミキサーの	種類と特性							
6	11月22日	デジタル卓	について							
7	11月29日	パワーアン	プの種類と特	性						
8	12月6日	スピーカー	の種類と特性							
9	12月13日	モニター卓	について							
10	1月17日	エフェクター	−の種類と特性	ŧ						
11	1月24日	イコライザ-	一の種類と特情	生						
12	1月31日	スピーカー	チューニングロ	こついて						
13	2月7日	MIXバラン	スについて							
14	2月14日	試験対策								
15										
評	· 価方法	定期試験点	期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)							
	評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)								
	テキスト									
注	意事項	42時間中1	5時間の欠席	で定期試	験受験	不可=卒	業ができませ	せん(留年となり	ります)	

科目名 PA実習 II A 担当講師							Ŧ	F葉 諭	
講師	下実務経験	音響フリーコ	ニンジニア						
文	象学年	1 学年	対象専攻	#'	ウンド・ス	テージ	授業形態	実習	3 3
	期間	3期、4期	総授業回数	13 🗓	1回あたりの授業	時間	270	分	
	<u>期</u> 修 得 目 標								
3期 小規模から大規模の、音響システムの基本を修得する。									
	4期	様々な状況	を想定した、音響						
回数	日程			【授	業	計	画】		
1	10月12日	KissHallを確	認し、機材保管	方法、電源の位	立置、安全	対策等について			
2	10月19日	KissHallの機	材確認と、適切	なケーブルの:	長さの選択	尺方法について			
3	10月26日	ラージサイス	ぐのミキサーのf	±込み、配線確	認につい 	τ			
4	11月2日	モニター卓0	D役割や仕込み	方について					
5	11月9日	実践的な全	体の仕込み練習	引① 操作確認	、配線の	 贪 証			
6	11月16日	実践的な全	体の仕込み練習	② 操作確認	、配線の	 			
7	11月30日	K-1に向け <i>た</i>	≃仕込み、転換線	東習					
8	12月14日	K−1での疑問	引点や課題点の	確認					
9	1月18日	少人数での	仕込み作業①						
10	1月25日	少人数での	仕込み作業②						
11	2月1日	デジタル卓に	こついて① 操作	作、仕込み方の	確認				
12	2月8日	デジタル卓に	こついて② 操作	上、仕込み方の	確認				
13	2月15日	定期試験対	策						
14									
15									
<u> </u>	···	B評価 定期	試験(筆記試験)30%、実技修行	导度70%で				
	P価方法	平常点±10	点(出席率、提出	出物、授業態度	取組状:	況など)			
	評価	上記総合評	価点 S(100-	90) A(89-80)	B(79-60) C(59-50) D(4	9以下不可)		
-	テキスト	参考資料の	配布						
注	注意事項	78時間中27	時間の欠席で定	E期試験受験7	可=卒業	ができません(留	年となります)		

;	科目名		PA実習ⅡB		担当請	担当講師 斎藤 康次				
講印	下実務経験	音響会社勤	助務							
	才象学年	1 学年	対象専攻	サウ	ンドステージ専		授業形態	実習	N H	
	期間	3期•4期	総授業回数	13 回		たりの授業 	時間	270	分	
	期				修得目標	票				
	3期	基本的なP	Aシステムの根	既要やセッテ	ィング技術を修	§得する。 				
	4期 ライブにおける、基本的なオペレート技術を修得する。									
回数	日程			【授	業	<u>'</u>	画】			
1	10月13日	授業ガイダ	ンス KISS	ホールでのF	PAセッティング	について				
2	10月20日	PAセットの	仕込み方							
3	10月27日	ライブ実習	1							
4	11月10日	ライブ実習	2							
5	11月17日	ライブ実習	3							
6	11月24日	デジタル卓	について							
7	12月1日	MIXバラン	スについて①							
8	12月15日	MIXバラン:	スについて②							
9	1月19日	エフェクター	一の使用方法に	こついて						
10	1月26日	ライブ実習	4							
11	2月2日	ライブ実習	(5)							
12	2月9日	ライブ実習	60							
13	2月16日	試験対策								
14										
15										
部	·価方法	定期試験点数(70%)実技修得度(30%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) ※実技習得度評価時期・方法:B								
	評価	上記総合記			-80) B(79-60) C(59-50	D) D(49以下	不可)		
=	テキスト			. , -						
注	意事項	78時間中2	7時間の欠席で	で定期試験受	験不可=卒業	ができませ	せん(留年とな	ります)		

	 科目名	舞	台音響技術概	論 I	担当講師 梶野 泰範・千葉 諭						
講師	市実務経験	音響会社勤	務								
交	才象学年	1 学年	対象専攻	サウン	バ・ステー ジ	専攻	授業形態	講義			
	期間	3•4期	総授業回数	14 🗓	1回あた	りの授業	時間	270 分			
	期	修得目標									
	3 期 舞台音響機構に関する知識を、舞台機構調整作業筆記試験・実技試験内容に沿う形で学び、 得する。										
	4 期 舞台機構調整技能士3級取得に向けた模擬試験を経て、傾向と対策を理解し修得する。										
回数	日程			【授	業計	<u>I</u>	画】				
1	10月14日	舞台一般の	知識、劇場・舞	台の種類、歴	史を学ぶ / 実技	試験の概	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	51 31			
2	10月21日	舞台機構設	:備、照明設備、	映像設備の基	基礎知識や舞台月	用語を学る	、/ 実技試験	の練習			
3	10月28日	音響の基礎	知識、音の物理	里的知識、聴覚	色に関する知識を	・学ぶ / 実	技試験の練 間	当			
4	11月4日	音響機器の	種類、構造、機	能及び用途を	学ぶ / 実技試験	倹の練習					
5	11月11日	音源の基礎	、声、楽器、音	楽の基礎の知	識を学ぶ / 実技	支試験の糸	東習				
6	11月18日	電気の基礎	を学ぶ / 実技	試験の練習							
7	11月25日	室内音響、	電気音響設備重	助作特性と測え	官の知識を学ぶ /	⁄ 実技試鷌	倹の練習				
8	12月2日	ミキシング打 の練習	支術及びデザイ	ンの知識、音楽	楽ジャンルにおけ	るテクニッ	ックの知識を覚	学ぶ / 実技試験			
9	12月16日	関係法規、	安全衛生の知詞	戦を学ぶ / 実持	支試験の練習						
10	1月20日	学科試験・9	実技試験のシュ	ミレーションを	 行 う ①						
11	1月27日	学科試験・9	実技試験のシュ	ミレーションを	 行う②						
12	2月3日	学科試験・乳	実技試験のシュ	ミレーションを	 行う③						
13	2月10日	学科試験・乳	実技試験のシュ	ミレーションを	行う④ / 定期試	——— 験対策					
14	2月17日	学科試験・乳	実技試験のシュ	ミレーションを	行う⑤ / 定期試	験対策					
=5	平価方法	A評価 定期	試験(筆記試験	()の素点で評	価						
		定期試験点			提出物、授業態原						
	評価	上記総合評		-90) A(89-80) B(79-60) C(5	69-50) D	(49以下 不可))			
	テキスト		てプリント配布				·= · · ·	La			
注意事項 84時間中29時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)							Γ)				